

こうふ未来創り重点戦略プロジェクト施策・事業に係る進捗状況等一覧 (プロジェクト掲載順) ○平成28年6月末日現在

NO.	基本政策	施策・事業等の名称 ※▶は、関連する施策・事業	概要	執行計画(平成27年度現在)				主な実績等と今後の予定							所管部・課					
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成27年度	主な実績等	課題等	主な実績等に伴う事業名等	平成27年度実績額 (単位:千円)	平成28年度	平成28年度の予定		平成28年度に実施予定の事業名等	平成28年度予算額 (単位:千円)	平成29年度(予定)	平成30年度(予定)	
12	(3) 「くらし調うまち」を創る	「首都圏広報官チーム」によるシニアプロモーション活動の推進	<p>首都圏広報官チーム(注4)を中心に、首都圏などを重点的なターゲットとしたシニアプロモーション活動の一層の推進や、市長のトップセールスの積極的な展開など効果的な戦略を図る。</p> <p>また、新たな視点に立った首都圏などでのシニアプロモーション活動も視野に入れている中で、早期に「シニアプロモーション戦略プラン」の見直しを図る。</p> <p>(注4) 首都圏広報官チームは、首都圏を中心にシニアプロモーション活動を戦略的に展開する職員により構成。</p>	準備・実施	推進	推進	推進	<p>実施</p> <p>・平成27年5月12日、山本副市長を首都圏広報官に市長が選任した。</p> <p>・首都圏広報官チームが設置され、平成27年5月12日、「第1回首都圏広報官チーム会議」を開催した。また、年度末までに2回会議を開催し、組織的・戦略的に取り組む。</p> <p>・首都圏広報官チームのプロジェクトとして、「甲府スポーツビューロ」を設置し、平成27年7月30日、「甲府スポーツビューロ」をスタート・ボード第1回会議を開催した。また、「甲府スポーツビューロ」アスリート・ボード会議を含め、全3回の会議を開催し、今後の取組について意見交換等を行った。</p> <p>・「全国特産品サミット2015」が平成27年8月2日に天竜市で開催され、首都圏広報官と首都圏広報官チーム(教育課)が参加し、「特産の日」の誘致活動とともに本市のPRを行った。</p> <p>・エフエム甲府のラジオ番組「こちら甲府スポーツビューロ」の放送を平成27年10月6日に開始(毎週火曜日10分間の生放送)し、スポーツを通じて認知度の向上を図った。</p> <p>・平成27年11月30日、甲府スポーツビューロのホームページを公開した。</p>	<p>今後の取組内容について、検討を進める。また、「シニアプロモーション戦略プラン」の見直しを図り、効果的なシニアプロモーション活動を全庁的に推進していく。</p>	<p>実施 2-1-9 シニアプロモーション事業費</p>	2,211	推進	<p>今後は、「首都圏広報官チーム」を改め、組織横断的に取り組む。</p> <p>また、甲府スポーツビューロのメンバーによる中学生を対象とした講演会を予定している。</p> <p>更に、甲府スポーツビューロのメンバーによるスポーツを通じてイベント等の開催を予定している。</p>	<p>主要 2-1-9 シニアプロモーション事業費</p>	12,099	推進	推進	<p>都市戦略室 シニアプロモーション課</p>		
			<p>中心市街地活性化基本計画に基づき、多様な主体との効果的な連携など幅広い視点に立った包括的な施策を展開し、居住・定住化などの促進を図るとともに、税制の支援に努めるなど中心市街地の魅力を再生し、その効果を周辺へ波及させる。</p>					<p>東京事務所の新設も視野に入れた新たな視点に立った首都圏などでのシニアプロモーション活動を推進</p>												
13	(3) 「くらし調うまち」を創る	中心市街地の居住・定住化などの促進 ▶まちなか不動産バンク事業の充実 ▶ししこまちづくり甲府と連携したまちなか再生事業の推進 ▶中心市街地駐車場の利便性向上施策の構築 ▶近接不動産のリノベーション事業の推進 ▶中心市街地定住促進事業補助制度の拡充 ▶甲府銀座ビルの再整備事業及び周辺環境の整備 ▶甲府市中心市街地活性化基本計画区域内における高度利用地区内の新築耐火建築物に対する税負担の軽減 ほか		準備・実施	準備・実施	準備・実施	推進	<p>・平成27年4月に空き屋等所有者に対して、使用実態とバンク登録への意向調査を実施し、バンク登録の意向を示した所有者に対して、登録干渉を行った。</p> <p>・平成27年11月に、本市と連携する中で、LLCまちなか甲府ホームページより「まちなか時間貸し駐車場検索」をスタートした。</p> <p>・平成27年9月と10月にリノベーションシンポジウムを開催するとともに、11月には「まちなかトレジャーハンティングを甲府」を開催した。</p> <p>・中心市街地定住促進事業補助制度については、現状維持である。</p> <p>・甲府銀座ビルの再整備事業にあわせて周辺環境の整備及び甲府市中心市街地活性化基本計画区域内における高度利用地区内の新築耐火建築物に対する税負担の軽減については、中心市街地活性化基本計画に事業追加をして平成28年3月の変更認定を申請。</p>	<p>現在取り組んでいる事業の検証を行う中で、今後も中心市街地の活性化に資する取組を推進していく。</p>	<p>実施 2-1-9 中心市街地活性化基本計画推進事業費</p>	<p>・2,300 ・繰越明許費 19,660</p>	推進	<p>中心市街地まちなかづくり会議等により、中心市街地活性化に資する事業の調査・研究等を行う中で、必要に応じて、中心市街地活性化基本計画に事業追加をしていく。(一部は中心市街地商業等活性化事業に変更)</p>	<p>主要 2-1-9 中心市街地活性化基本計画推進事業費</p>	2,450	推進	推進	<p>企画部 地域振興課 産業部 商工課</p>		
								<p>・甲府市市税条例の一部改正 ・平成28年3月議会定例会へ本条例案を提案 ・平成28年4月1日から施行</p> <p>※改正の概要 甲府市中心市街地活性化基本計画に定める区域内のうち、高度利用地区内の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、地方税法第6条第2項の規定に基づき、都市再開発法第138条第1項に規定する耐火建築物に係る固定資産税の不均一課税を行う。</p>	<p>甲府銀座ビルの再整備事業の進捗状況を注視するなど、本制度を効果的に活用した中心市街地の活性化を図る。</p>	<p>中心市街地活性化支援のための税制の導入</p>	—	推進	—	—	—	—	—	—	—	<p>市民部 資産課 企画部 地域振興課</p>
								<p>中心市街地定住促進事業補助制度の推進 中心市街地定住促進住宅取得支援事業補助を12件、中心市街地定住促進住宅改修支援事業補助を4件行った。</p>	<p>事業の検証を行うなど、中心市街地の定住の一層の促進を図る。</p>	<p>実施 8-3-2 中心市街地定住促進事業費</p>	5,582	推進	<p>今後も同様の支援を行う。</p>	<p>主要 8-3-2 中心市街地定住促進事業費</p>	3,500	推進	推進	<p>建設部 都市計画課</p>		
								<p>甲府銀座ビルの再整備事業及び周辺環境の整備 平成27年12月15日に平成27年度優良建築物等整備事業補助金交付決定を行った。 平成28年1月に既存解体工事を完了し、平成28年2月24日に施行者が起工式を行い、本体工事に着手した。</p>	<p>事業の進捗状況などを確認していく。</p>	<p>実施 8-3-1 都市基本計画推進事業費</p>	<p>・110,926 ・繰越明許費 465,122</p>	推進	<p>今後も年度ごとの事業の進捗を図る。</p>	<p>主要 8-3-1 優良建築物等整備事業費</p>	308,420	—	—	<p>建設部 都市計画課</p>		
14	(3) 「くらし調うまち」を創る	ジュエリー関連企業の集積による産業の活性化と雇用対策	<p>ジュエリー関連企業の集積による産業の振興を図るため、甲府ブランド認定制度等を活用した新たな商品開発の促進や購買力を高める取組を推進するとともに、若手クリエイターの出店を支援することにより、若者の雇用の拡大を図る。</p>	準備・実施	推進	推進	推進	<p>①甲府ブランド認定制度 【制度について】 平成27年10月にクラフト系部門、農林産物部門を新設した。併せて、部門ごとにロゴマークを設けることで、部門が複数あることを明確化し、それぞれの部門ごとに合ったPRおよび販路拡大を図った。 【認定品について】 ・クラフト系部門第1号認定「ジュエリー・TOLABO×10Kシリーズ」(平成27年10月) ・食品部門第5号認定「清酒 純米大吟醸 帯那」平成28年3月審査会予定 【認定品のPRについて】 ・クラフト系部門については、認定1号「TOLABO×10Kシリーズ」を効率的に発表及びPRする手段として、まずは首都圏エリアでのファッションの合同展示会である「rooms」に出展し、情報発信を図った。更に、中心市街地へのジュエリーの集積を図るとともに、甲府のジュエリーの認知度を高めることを目的として、認定品を中心とした展示及びチラシ配布などのPRを行った。</p> <p>②「甲府市中心市街地空き店舗活用事業補助金交付要綱の一部改正」 ・ジュエリー・クラフト関連店舗の集積及び若手クリエイターの出店支援を図るため、クラフト系関連集積エリアを設けた。その集積エリア内でジュエリー・クラフト関係の商品を製造・販売する者に対して、補助率を引き上げる内容へと平成27年11月1日に補助金交付要綱の一部を改正した。</p> <p>③「中心市街地にジュエリー・クラフト関連店舗を集積させるための拠点創出の整備」 ・平成27年11月に、オリオンスクエア内の空き店舗を活用した、拠点店舗のリノベーション、出展者の選定、平成28年度以降の運営プランの作成業務について、公営プロポーザル方式により民間事業者へ委託した。 ・上記拠点店舗は平成28年4月1日にプレオープン、同年4月2日にグランドオープン予定。</p>	<p>オリオンスクエア内の空き店舗の活用など、ジュエリー関連店舗の集積による産業の振興を図る。</p> <p>※山梨大と連携したスパークリングワインの開発業務委託についても、この項目に取り込んでいく。</p>	<p>実施 7-1-2</p>	<p>①1,590 ②4,000千円 ③ -</p>	推進	<p>①甲府ブランド認定制度 今後も継続してPR及び販路拡大の支援を行う。</p> <p>②「甲府市中心市街地空き店舗活用事業補助金交付制度の推進」 今後も、同補助金の周知を図り、ジュエリー・クラフト関係店舗の集積に努める。</p>	<p>主要 7-1-2 ①地場産業振興対策事業費 ②中心市街地商業等活性化事業費</p>	<p>①4,222 ②8,000</p>	推進	推進	<p>産業部 商工課</p>		

NO.	基本政策	施策・事業等の名称 ※>は、関連する施策・事業	概要	執行計画(平成27年度6月現在)				主な実績等と今後の予定								所管部・課			
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成27年度	主な実績等	期別等	主な実績等に存する事業名等	平成27年度実績額 (単位:千円)	平成28年度	平成28年度の予定	平成28年度に実施予定の事業名等		平成28年度当初予算額 (単位:千円)	平成29年度(予定)	平成30年度(予定)
				準備・実施	推進	推進	推進	実施	準備	実施	7-1-2 ①中心市街地商業等活性化事業費 4,201	推進	①創業支援事業計画 「中小企業・小規模企業振興条例(仮称)」の制定や「創業支援事業計画(仮称)」の策定による産業の育成と雇用の拡大を図る。	①8,000	①中心市街地商業等活性化事業費		推進	推進	産業部 商工課
15	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「中小企業・小規模企業振興条例(仮称)」の制定や「創業支援事業計画(仮称)」の策定による産業の育成と雇用の拡大	中小・小規模企業や創業者の支援等について実効性のある条例の制定や計画を策定し、創業をはじめ、経営の持続や成長、拡大など各段階に応じた産業の育成や雇用の拡大を図る。	準備・実施	推進	推進	推進	実施	①平成27年10月2日付で産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画について国の認定を受けた。これにより、創業支援体制の強化とスムーズな創業を目指し、創業希望者が創業に至るまでの総合的な支援を行っている。また、平成28年2月15日に第1回推進委員会を行った。これまでに、特定創業支援事業による支援を受けたことの証明を2者に対して発行した。	「中小企業・小規模企業振興条例(仮称)」の策定や、「創業支援事業計画」に基づいた取組を促進し、産業の育成や雇用の拡大に繋げる。	実施 7-1-2 ①中心市街地商業等活性化事業費 4,201	推進	①創業支援事業計画 「中小企業・小規模企業振興条例(仮称)」の制定や「創業支援事業計画(仮称)」の策定による産業の育成と雇用の拡大を図る。	①8,000	①中心市街地商業等活性化事業費	推進	推進	産業部 商工課	
16	(3) 「くらし潤うまち」を創る	甲府が誇る地域資源を活かした観光振興や誘客促進	豊かな「自然」や重層的な「歴史」・「文化」などを分野で、甲府が世界に誇る多様な地域資源の効率的なプロモーションを行うとともに、その連携体制を強化し、観光の振興や交流人口の増加を図る。	準備・実施	推進	推進	推進	実施	①着地型観光整備推進事業 ・平成27年10月3日モニターツアー「ワイン列車」実施 ・平成27年11月15日モニターツアー「ワイン・ジュエリー列車」実施 ・平成27年12月5日～平成28年3月31日「戦国宝珠ゲーム」実施 ・平成28年2月26日～29日モニターツアー「コトツで夜景」実施 ②無料Wi-Fi設置推進事業 ・平成27年度の設置数(申込分含)145箇所(2月末見込み) ・平成27年7月18日～9月30日 無料Wi-Fiスタンプラリーイベント(参加者5,176人) ③観光プロモーション事業 ・平成27年11月17日～23日 インドネシア観光トップセールス ・平成28年1月下旬 甲府市観光パンフレットリニューアル ・平成28年1月25日 スペシャルホールサイト「甲府でしかできない50のこと」開設 ・平成28年3月1日 観光PR特設ホームページ「信立公リターンズ」開設 ・平成28年3月14日～17日 インドネシア旅行社との観光マッチング事業	事業の検証を進めるとともに、店舗等における外国人などの観光客等の受入体制の促進を図っていく。	実施 7-1-3 観光開発事業費 ・15,990 ・繰越明許費 68,120	推進	①着地型観光整備推進事業 平成28年度においては今年度のアンケート等の分析を踏まえ、引き続き本市の観光振興を生かしたワイン列車等のモニターツアー等の着地型観光を推進していく。 ②無料Wi-Fi設置推進事業 平成28年度以降においても関係機関と連携して無料Wi-Fiの整備推進を図るとともに、Wi-Fi設備を活用した接客イベントを実施していく。 ③観光プロモーション事業 平成28年度においては今年度と同様にアンケートを明確にした中で郷土の英雄「武田信玄」・「国産ワイン発祥の地」・日本の繁栄を誇る「ジュエリーのまち甲府」を柱としたブランディングを行い、その他の地域資源については、これとの組み合わせによるプロモーションを実施していく。	①8,000	①着地型観光整備推進事業 ②無料Wi-Fi設置推進事業 ③観光プロモーション事業	推進	推進	産業部 観光課	
17	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「甲府大好きまつり」の魅力の向上	「開府500年やリニア(注5)時代の到来を契機に、市民ニーズや観光客のニーズの多様化に考慮したより質の高い、魅力あるまつりへの転換を図る。 (注5)リニア中央新幹線の略(以下「リニア」という) エリアの中核幹線は、東京～大阪間を連続的500km/hで結ぶ新たな新幹線であり、平成39年(2027年)の東横～名古屋間の開業を目指し、本格的な準備が進んでいる。	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	「甲府大好きまつり」の在り方や開催について検討を行う「甲府大好きまつり検討委員会」を設置した。検討の結果、平成28年度以降は自治会連合会を中心として幅広い世代の市民が参加する祭りとして開催し、会場は駐車場や大勢の市民が参加できる会場として小瀬スポーツ公園とした。また、併せて甲府市農林業まつりと同日開催とすることをし、平成27年度は例年どおり中心街を中心に開催した。 一方、甲府大好きまつりとは別に、観光客が観覧できる祭りを、新たに夏に開催することとした。	「甲府大好きまつり」や、「サマーフェスティバル」の実施内容の精査など、本市にとって効果的な取組を推進する。	実施 7-1-3 まつり推進事業費 8,000	実施	新たな祭りの開催方法については、公募型が行われることにより企画・運営事業者について広く民間から募る中で選定を行う(開催時期は、8月11日の祝日「山の日」の予定)	17,000	①甲府大好きまつり ②(仮称)サマーフェスティバル	推進	推進	産業部 観光課	
18	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「山の日」の活用	平成28年から8月11日が「山の日」として、祝日に制定されたことから、環境保全活動を通じた山や森林の役割、自然の恵みについて見つけ出す機会を創出するとともに、快適な登山環境の整備に努め、自然を愛する登山愛好者などを呼び込んでいく。	準備	実施	推進	推進	準備	・記念登山に向け著名人との事前交渉を行った。 ・各山岳連盟と今後の取組方法や活動内容及びスケジュールについて協議を行った。	「山の日」の実施内容の精査など、本市にとって効果的な取組を推進する。	—	実施	平成28年度に山の日国民の休日制定記念登山を実施する。	1,485	一般 6-2-2 森林林業普及啓発事業	推進	推進	産業部 林政課	
19	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「開府500年」や「信立公生誕500年」を見据えた「歴史物語都市こうふ」の推進 ➡武田氏結核を中心とした史跡・文化財等の整備 ➡甲府城周辺地域の整備 ➡まちなか回遊道路の整備 ➡遊亀公園及附属動物園の整備 ほか	「開府500年(平成31年)や信立公生誕500年(平成33年)を迎えるにあたり、武田三代をはじめ、小江戸文化や明治期の近代化など重層的で多様な歴史・伝統・文化を振り返り、市民がより一層、我がまちを誇りに感じ愛着を感得されるよう一体的な意識の醸成を図り、この節目を祝うとともに、本市の輝かしい未来に向かって、思いを共有できるような機会を創出する。 また、魅力発信の好機として効果的なイベントやプロモーション活動を展開するとともに、武田氏結核を中心とした史跡・文化財などについても着実な整備を進め、「歴史物語都市こうふ」の実現に向けた全庁的な取組を推進する。 ➡事業戦略やスケジュールなどに関する基本方針の策定	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	「開府500年の関連事業として庁内から提案された事業をまとめた上で、事業内容の精査を行い、平成28年度に実施する関連事業(案)の選定を行った。また、事業全体の実施体制やスケジュール等について検討を行うとともに、記念事業に係る企画広報業務の委託に向けた検討を行った。	推進体制やスケジュールなどの詳細について策定するとともに、開府500年や信立公生誕500年までを見据えたイベント等についても検討を進めていく。	実施 10-2 史跡武田氏館跡整備事業費 127,653	推進	今後も、平成31年の開府500年や平成33年の信立公生誕500年に向け、効果的な取組を推進していく。	18,935	①開府500年記念事業費	準備・実施	実施	企画部 開府500年事業計画課	
19	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「開府500年」や「信立公生誕500年」を見据えた「歴史物語都市こうふ」の推進 ➡武田氏結核を中心とした史跡・文化財等の整備 ➡甲府城周辺地域の整備 ➡まちなか回遊道路の整備 ➡遊亀公園及附属動物園の整備 ほか	「開府500年(平成31年)や信立公生誕500年(平成33年)を迎えるにあたり、武田三代をはじめ、小江戸文化や明治期の近代化など重層的で多様な歴史・伝統・文化を振り返り、市民がより一層、我がまちを誇りに感じ愛着を感得されるよう一体的な意識の醸成を図り、この節目を祝うとともに、本市の輝かしい未来に向かって、思いを共有できるような機会を創出する。 また、魅力発信の好機として効果的なイベントやプロモーション活動を展開するとともに、武田氏結核を中心とした史跡・文化財などについても着実な整備を進め、「歴史物語都市こうふ」の実現に向けた全庁的な取組を推進する。 ➡事業戦略やスケジュールなどに関する基本方針の策定	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	7月24日に史跡武田氏館跡保存整備委員会専門委員会を開催し、修理工事について協議するとともに、学術の見地より指導をいただいた。 2月25日、3月25日に武田氏館跡活用庁内検討委員会を開催し、整備計画・ガイダンス施設整備について協議した。 ・武田氏館跡西側第4次修理工事(整備面積70㎡)を実施した。 ・総合案内所について、基本・実施設計の策定に向け調査・研究を行った。	「開府500年を見据えた計画的かつ着実な事業の推進を図る。	実施 10-2 史跡武田氏館跡整備事業費 127,653	推進	今後は、「史跡武田氏館跡第2次整備基本計画」に基づき実現可能な計画へと見直しを図るとともに、総合案内所の平成31年3月完成を目指す。	158,128	史跡武田氏館跡整備事業費	推進	推進	教育部 生涯学習文化課	
19	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「開府500年」や「信立公生誕500年」を見据えた「歴史物語都市こうふ」の推進 ➡武田氏結核を中心とした史跡・文化財等の整備 ➡甲府城周辺地域の整備 ➡まちなか回遊道路の整備 ➡遊亀公園及附属動物園の整備 ほか	「開府500年(平成31年)や信立公生誕500年(平成33年)を迎えるにあたり、武田三代をはじめ、小江戸文化や明治期の近代化など重層的で多様な歴史・伝統・文化を振り返り、市民がより一層、我がまちを誇りに感じ愛着を感得されるよう一体的な意識の醸成を図り、この節目を祝うとともに、本市の輝かしい未来に向かって、思いを共有できるような機会を創出する。 また、魅力発信の好機として効果的なイベントやプロモーション活動を展開するとともに、武田氏結核を中心とした史跡・文化財などについても着実な整備を進め、「歴史物語都市こうふ」の実現に向けた全庁的な取組を推進する。 ➡事業戦略やスケジュールなどに関する基本方針の策定	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	甲府城周辺地域の整備 「甲府城周辺地域活性化基本計画検討委員会」 平成27年 8月10日第1回検討委員会の開催 平成27年10月31日第2回検討委員会の開催 平成27年12月24日第3回検討委員会の開催 平成28年 2月20日第4回検討委員会の開催 平成28年 3月 3日地元自治会説明会 上記4回の検討委員会を経て、基本計画(案)の策定における取組を行った。	甲府税務署跡地や社会教育センター跡地などの有効活用について、県と協議を進めるなど、実施計画を策定していく。	実施 8-3-1 都市基本計画推進事業費 10,400	準備	今後、パブリックコメントを行い、基本計画(案)を策定し、平成28年度には、より詳細な実施計画を策定する予定。	9,000	甲府税務署跡地や社会教育センター跡地などの有効活用について、県と協議を進めるなど、実施計画を策定していく。	準備	準備	建設部 都市計画課	
19	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「開府500年」や「信立公生誕500年」を見据えた「歴史物語都市こうふ」の推進 ➡武田氏結核を中心とした史跡・文化財等の整備 ➡甲府城周辺地域の整備 ➡まちなか回遊道路の整備 ➡遊亀公園及附属動物園の整備 ほか	「開府500年(平成31年)や信立公生誕500年(平成33年)を迎えるにあたり、武田三代をはじめ、小江戸文化や明治期の近代化など重層的で多様な歴史・伝統・文化を振り返り、市民がより一層、我がまちを誇りに感じ愛着を感得されるよう一体的な意識の醸成を図り、この節目を祝うとともに、本市の輝かしい未来に向かって、思いを共有できるような機会を創出する。 また、魅力発信の好機として効果的なイベントやプロモーション活動を展開するとともに、武田氏結核を中心とした史跡・文化財などについても着実な整備を進め、「歴史物語都市こうふ」の実現に向けた全庁的な取組を推進する。 ➡事業戦略やスケジュールなどに関する基本方針の策定	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	まちなか回遊道路の整備	「開府500年までに整備が完了できるよう計画的な整備を進める。	実施 8-3-3 甲府駅周辺拠点形成事業費 6,480	準備	今後は、用地買収・道路工事・路切工事等を順次行い、平成31年度実施予定。	130,000	甲府駅周辺拠点形成事業費	準備	準備	建設部 区画整理課	
19	(3) 「くらし潤うまち」を創る	「開府500年」や「信立公生誕500年」を見据えた「歴史物語都市こうふ」の推進 ➡武田氏結核を中心とした史跡・文化財等の整備 ➡甲府城周辺地域の整備 ➡まちなか回遊道路の整備 ➡遊亀公園及附属動物園の整備 ほか	「開府500年(平成31年)や信立公生誕500年(平成33年)を迎えるにあたり、武田三代をはじめ、小江戸文化や明治期の近代化など重層的で多様な歴史・伝統・文化を振り返り、市民がより一層、我がまちを誇りに感じ愛着を感得されるよう一体的な意識の醸成を図り、この節目を祝うとともに、本市の輝かしい未来に向かって、思いを共有できるような機会を創出する。 また、魅力発信の好機として効果的なイベントやプロモーション活動を展開するとともに、武田氏結核を中心とした史跡・文化財などについても着実な整備を進め、「歴史物語都市こうふ」の実現に向けた全庁的な取組を推進する。 ➡事業戦略やスケジュールなどに関する基本方針の策定	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	遊亀公園および附属動物園の整備 ・平成27年6月24日に第1回甲府市遊亀公園・附属動物園策定委員会を開催し、計6回もの策定委員会による検討を経て、甲府市遊亀公園・附属動物園整備計画(案)をまとめ、3月3日に市長へ報告した。	「開府500年に向けて、遊亀公園及び附属動物園の整備計画を策定していく。	実施 8-3-6 動物園整備事業費 9,612	準備	今後は、引き続き地域住民へ計画的な説明やパブリックコメントを実施し計画を策定する。また、整備に関わる事業手法についても併せて検討していく。	3,524 (事業手法を決定後、補正予算を要求する予定)	動物園整備事業費	準備	実施	建設部 公園緑地課	
20	(3) 「くらし潤うまち」を創る	甲府市公共サインの統一	「開府500年を迎えるにあたり、来訪者が安全で円滑に移動ができるよう自然景観や歴史背景に配慮した、わかりやすい統一感のある公共サインの設置を推進する。	準備	準備	実施	推進	準備	・平成27年11月20日 甲府市公共サイン計画策定庁内検討会議 開催の開催 ・平成27年12月18日 第一回甲府市公共サイン計画策定検討会議を開催し計画策定の目的及び今後の予定などについて会議を行った。 ・平成28年3月24日 各担当課で所管している公共サインの調査を行い、その結果について分析し、課題を抽出して基本方針(案)を策定した。	計画策定後の取組内容について、検討を進めていく。	実施 8-3-1 都市基本計画推進事業費 2,644	準備	平成28年度は3回の検討会議を予定しており、平成27年度で承認を受けた基本方針に基づき、基本理念の方向づけ、案、原案の決定へ向け議論を進めていく。パブリックコメントを経て、平成28年度中の決定を目指す。	5,619	景観まちづくり推進事業費	実施	推進	建設部 都市計画課	

NO.	基本政策	施策・事業等の名称 ※>は、関連する施策・事業	概要	執行計画(平成27年6月現在)				主な実績等と今後の予定										所管部・課	
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成27年度	主な実績等	期別等	主な実績等に伴う事業名等	平成27年度実績額 (単位:千円)	平成28年度	平成28年度の予定	平成28年度に実施予定の事業名等	平成28年度予算額 (単位:千円)	平成29年度(予定)		平成30年度(予定)
21	(3) 「くらし潤うまち」を創る	リニアを活用した「国際交流都市甲府」の実現	リニア開業の効果を本市のまちづくりに活かすため、リニア新駅近郊のまちづくりビジョンを策定するとともに、リニアを活用した「国際交流都市甲府」の実現を目指す。	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の「甲府市リニア活用推進委員会」を開催し、「(仮称)甲府市リニア活用基本構想」の策定方針を定めた。 ・コンサルへの業務委託契約を締結し、市民アンケート調査を実施するとともに、各種会議の支援や資料作成を依頼した。 ・各部署に対し、リニア開業の効果や影響等について調査を行い、「幹事会」を開催し調査結果を基に、基本構想の方向性について検討した。 ・外部の「甲府市リニア活用策検討委員会」を開催し意見を聴くとともに、「地域部会」を開催しワークショップ形式で地元の見解を整理した。 ・検討委員会等の意見や調査結果などを参考に、基本構想の検討ポイントを整理した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア開業の効果を十分に活かせるよう基本構想の策定に向けた取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経常2-1-9 ・公共交通体系整備推進事業費 	15,606	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、更に検討を深め、平成28年度末を目標に基本構想を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般2-1-9 ・公共交通体系整備推進事業費 	8,549	準備	準備	企画部 リニア政策課
22	(3) 「くらし潤うまち」を創る	交通ネットワークの構築	JR甲府駅とリニア新駅の連結や、新山梨環状道路など県内の各地域の拠点を高い連携性をもって接続する幹線と、地域内をきめ細かに巡る地域内交通の役割分担を明確にし、両者を拠点などで接続することで、広域的で利便性の高いネットワークを構築する。	準備・実施	準備・実施	推進	推進	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年8月27日、平成28年1月27日に開催された山梨県の「甲府盆地南西地域バス路線検討会」に参加し、バス交通ネットワーク再生計画における地域の拠点幹線路線について協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の課題や考えを十分に反映できる利便性の高い交通ネットワークの構築に向けた取組を推進する。 	—	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度には、運行に向けバス事業者、市町村との協議、調整を行った後、バス交通ネットワーク再生計画が策定される予定である。 	—	準備	準備	企画部 交通政策課		